

学校教育目標

「夢・志の実現 一步前へ！」

～地域を愛し 志をもち グローバル社会を生き抜く児童生徒の育成～

文責
畑野

みんな素晴らしい！～マラソン大会から～

■志成学園として第1回のマラソン大会を開催しました。対象は、1～6年生です。距離は、1・2年生が700m、3・4年生が900m、5・6年生が1100mでした。コースは、校舎南側の小運動場をスタートし、大運動場を回って、小運動場に戻ってゴールするものです。

■子どもたちは、11月からはじめた体力向上を目指す1校1実践のランニングや体育授業での練習で力をつけてきました。授業では、記録も取って自分の成長を感じながら、さらなる目標を立てそれを越えるよう目指しました。

■そして、本番です。「自己記録の更新を目指す子」「順位の上位を目指す子」「最後まで歩かず、走り切る子」等、それぞれが目標をもち、マラソン大会に挑みました。



■読み聞かせの方が、校長室に集まってから各学年へ読み聞かせに行ってくれています。その校長室での話です。「今朝もあいさつ坂で、子どもが車に向かってきちんとお辞儀をしてあいさつしてくれたが、そこまでさせなくても・・・。」という話になりました。

■あいさつ坂のあいさつは、「教師が指導してさせているのではないのです。先輩の姿を見て後輩がその姿に学び継承されているのです。」とお話をさせていただきました。私も昨年武蔵中に来た際に驚かされたことであります。これまでも工事の方々、来校者の皆様からも話題になりました。時代とともにあいさつの仕方は変われど、その心は継承されていると感じています。児童生徒会の役員や生活部のみなさんも朝早くから声掛けをしてくれています。

■今年度から小学生も通うようになりましたが、あいさつの輪は、徐々に広がっています。志成学園にお越しの際には、よろしければ、車の窓を開け声をかけて下さい。もちろん地域でも、児童生徒にあいさつをかけて下さい。よろしくお願いいたします。



■1年生・2年生と順番にスタートしました。一人ひとりが真剣な表情で走り抜けていく姿に、また、最後のゴールまで手を抜かず走り切る姿に感動しました。

■中には、走ることが苦手では意欲的に体育に参加できなかった子どもが、今回のマラソン大会に向けては、まずコースを歩き切ることから始め、軽いジョギング、自分なりの速さで走ることを練習して積み重ねてきました。本番でも長い距離でしたが、最後まで走り切りました。感激しました。自分の力でやり切ることを通して自信をつけたと信じています。これからも頑張ってもらいたいです。

■また、どの学年が走っている時も、走っていない学年が一生懸命応援していました。そうすると、走っている子どももパワーをもらったように速く走っていました。声援というのは、人を勇気づけるのだなと、改めて思い知らされました。

■最後になりましたが、応援に来ていただいた保護者の皆様、お忙しい中わざわざありがとうございました。子どもたちへの声援はしっかり届いたと思いました。お願いしたように、家庭に帰っても子どもたちをたくさんほめていただけましたか？感謝申し上げます。コロナ禍であります。また一つ志成学園としての行事を終えることができ、ホッとしています。行事の度に、子どもたちの頑張る姿に感動させられたり、新たな子ども的一面が見えたりして、うれしい気持ちになりました。子どもたちに、感謝です！ありがとう！

入学説明会

昨日、入学予定児童入学説明会がありました。新入学児童に1年生が1年間頑張ったことを紹介しました。1年間の成長が体の大きさだけでなく発表の姿からもよく伝わりました。とても立派でした。来年度は、25名の入学が予定されています。保護者への説明の間、来年度前期のリーダーとなる3年生が、一緒に遊んでくれました。入学が楽しみに待っています。

